

机上で森林の境界明確化を支援する技術

概要

- 森林所有者だけでは、森林境界の判断ができず、管理者、近隣所有者などの相互確認が必要なケースにおいて、様々な境界の判断根拠を高精度に図示することによって、机上での境界画定を支援する技術。
- 公図上と空中写真やレーザデータなどから解析した地形情報、林分情報、現地精通者や現地調査の筆界情報等をGISで重合し、地籍技術者の総合的判断により境界素案を作成。
- 境界の判断根拠として小さな窪地や尾根などの微地形を表現する赤色立体地図(特許第3670274号)、生育樹種や樹高密度の違いを詳細に区分するレーザ林相図(特許第5592855号)を採用。
- 境界素案を、境界の判断根拠を視覚化した図上に表示して、集会所等に森林所有者(代理人)、関係者を集めて、境界を確認。

導入効果

- 現地での立会作業を省力した手法の導入が可能となり、境界画定作業期間の短縮が可能。
- 従来の手法よりも広域で行う事により境界確定の進捗の加速。



○対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	茶	花き
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物		
沿岸漁業	養殖業	沖・通洋漁業	その他水産業	林業		その他

○該当するニーズ

項目	林業(1)計画
技術ニーズ	境界管理
具体的なニーズの内容	境界画定時の現地立会について、林内の画像や位置情報を利用した机上の確認で代替する技術

○開発等の段階

開発/実証中	○
モニター販売中	
一般販売中	
その他	

☎連絡先
 アジア航測株式会社
 TEL:044-967-6410
<https://www.ajiko.co.jp/contact/>